

◆主要ニュース◆

●第26回参議院議員通常選挙における全国たばこ販売政治連盟推薦当選議員紹介/茨城たばこワゴン/岡田広先生に全協・加藤副会長らが謝意/九州北部連合会の加藤前会長にJT福岡支社から感謝状...2面
●各地で20歳未満喫煙防止キャンペーン(埼玉県・神奈川県・栃木県・千葉県)...3面
●地方たばこ税を活用した分煙環境整備活動について/新・煙草知新...5面
●茨城県連合会の菅谷会長が県議会副議長・県議に喫煙環境整備への協力を要請/茨城県南地域・鹿行地域の合同女性部交流会/JT情報(セブンスター・10・ボックス)/TSネットワーク株の新社長に新谷裕氏が就任/日本自動販売システム機械工業会の新会長に森益哉氏が就任/江戸川柳と嗜好品...6面
●先人の言葉⑤/頭の体操おもしろクイズ...7面
●「20歳未満喫煙防止」の徹底に向けた標語を募集/[たばこ屋さん目線]からの川柳/たばこ生協70周年特別表彰決まる/手作りPOP講座...8面

全国たばこ新聞

2022年8月 August 第916号

発行元/全国たばこ販売協同組合連合会 〒105-0014 東京都港区芝1丁目6番10号 芝SIAビル7階 TEL.03(5476)7551
企画編集責任/株式会社アーネスト 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第一ビル TEL.03(3432)8346

第26回参議院議員通常選挙 全国たばこ販売政治連盟本部推薦候補者 藤木眞也氏、宮沢洋一氏が見事当選!



7月10日 7月10日に行われた第26回参議院議員通常選挙に投開票が行われた第26回参議院議員通常選挙において、全国たばこ販売政治連盟(益田龍朗会長)が組織推薦候補者として、早くも決定的な結果、零細店競争が進んだ結果、零細店

宮沢 洋一 参議院議員 見事、2回目の当選を果たした。また、広島
藤木 眞也 参議院議員 補の藤木眞也氏(党たばこ議員連幹事)が、比例代表第9位(得票数18万7千票余)で、

「分煙環境整備」の行政・議会等への陳情・要請活動(全協まとめ)

Table with 4 columns: Activity, 2021年5月10日時点, 2022年7月14日時点, 増加数. Rows include: 総活動実績数, 首長接見, 【行政】陳情書等提出, 【議会】陳情書等提出, 陳情書等採択, 国への意見書提出, 喫煙所創出.

「たばこを吸う人と吸われない人が共存できる分煙社会の実現」を目標とし、分煙先進国を目指す。分煙活動は、2022年7月14日時点の累計活動実績数は1千件を超えて、1年前の5月10日時点に比べ336件増の1,272件(詳細上表)となった。

減少傾向続き過去最少の22万9105店

お客様の減少などたばこ市場の構造変化
「喫煙者率の低下に伴う喫煙人口の減少」として、販売店数(総需要)減少という市場基盤の構造変化に、度々なる増税や喫煙規制強化などによって喫煙者(お客様)が減って販売店数が減れば、販売店数は必然的に減少傾向に続いている。数字の表面上の動きは大きく様変わりしている。

市場の構造変化
を中心とした一般販売店の廃業に強く影響したものと推測できる。全協まとめによる2021年12月現在の全国組合員数は3万5403人で前年同期に比べ3806人の減少だが、この数字は2021年度の販売店全体の減少店数3938店とほぼ同じである。言い換

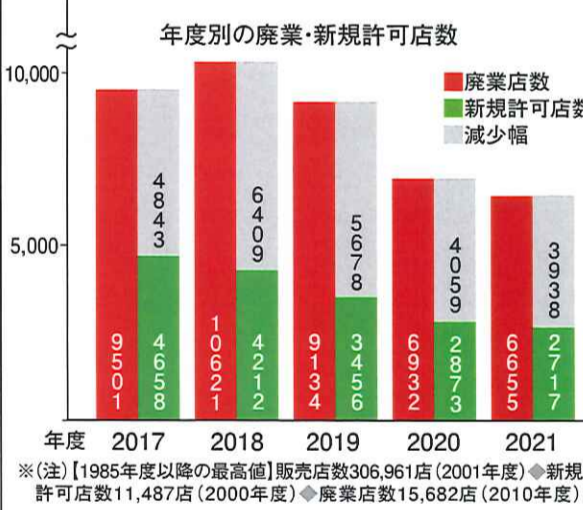
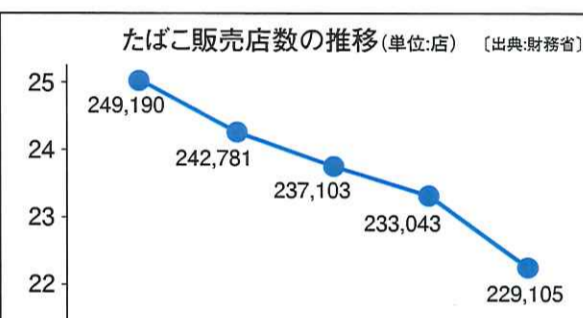
「分煙環境整備」要請活動 総活動実績数1272件

「たばこを吸う人と吸われない人が共存できる分煙社会の実現」を目標とし、分煙先進国を目指す。分煙活動は、2022年7月14日時点の累計活動実績数は1千件を超えて、1年前の5月10日時点に比べ336件増の1,272件(詳細上表)となった。

新規店数は2年連続 2千店台の低水準に

2021年度のたばこ販売店数

財務省調べによる2021年度(2022年3月末時点)の全国たばこ販売店数は22万9105店(前年度比3938店・1.7%減)と23万店を下回り、1985年度以降過去最少となった。その内訳は、新規許可店2717店(同5.4%減)、廃業店(不継承)32店・許可取消4店(同5.4%減)である。販売店数は2002年度から20年連続して廃業店数が新規許可店数を上回る減少傾向にある。



「たばこを吸う人と吸われない人が共存できる分煙社会の実現」を目標とし、分煙先進国を目指す。分煙活動は、2022年7月14日時点の累計活動実績数は1千件を超えて、1年前の5月10日時点に比べ336件増の1,272件(詳細上表)となった。

2段広告

第26回参議院議員通常選挙

全国たばこ販売政治連盟推薦当選議員

(順不同、敬称略。自民党公認。氏名等の表記は自民党発表による。ゴシック体表記の議員は自民党たばこ議員連盟所属)

【比例代表当選議員】

●藤木 真也(全国政治連盟本部推薦・当選2回)

【選挙区選出当選議員】

- 北海道=長谷川 岳(当選3回)／船橋 利実(当選1回)
- 岩手県=広瀬 めぐみ(当選1回)
- 秋田県=石井 浩郎(当選3回)
- 福島県=星 北斗(当選1回)
- 茨城県=加藤 明良(当選1回)
- 群馬県=中曽根 弘文(当選7回)
- 埼玉県=関口 昌一(当選5回)
- 千葉県=猪口 邦子(当選3回)／白井 正一(当選1回)
- 東京都=朝日 健太郎(当選2回)／生稲 晃子(当選1回)
- 神奈川県=浅尾 慶一郎(当選3回)
- 新潟県=小林 一大(当選1回)
- 富山県=野上 浩太郎(当選4回)
- 石川県=岡田 直樹(当選4回)
- 福井県=山崎 正昭(当選6回)
- 山梨県=永井 学(当選1回)
- 岐阜県=渡辺 猛之(当選3回)
- 静岡県=若林 洋平(当選1回)
- 愛知県=藤川 政人(当選3回)
- 三重県=山本 佐知子(当選1回)
- 滋賀県=小鐘 隆史(当選2回)
- 京都府=吉井 章(当選1回)
- 大阪府=松川 るい(当選2回)
- 兵庫県=末松 信介(当選4回)
- 奈良県=佐藤 啓(当選2回)
- 和歌山県=鶴保 庸介(当選5回)
- 鳥取・島根県=青木 一彦(当選3回)
- 岡山県=小野田 紀美(当選2回)
- 広島県=宮沢 洋一(全国政治連盟本部推薦・当選3回)
- 山口県=江島 潔(当選3回)
- 徳島・高知県=中西 祐介(当選3回)
- 香川県=磯崎 仁彦(当選3回)
- 愛媛県=山本 順三(当選4回)
- 福岡県=大家 敏志(当選3回)
- 佐賀県=福岡 資麿(当選3回)
- 長崎県=山本 啓介(当選1回)
- 熊本県=松村 祥史(当選4回)
- 大分県=古庄 玄知(当選1回)
- 宮崎県=松下 新平(当選4回)
- 鹿児島県=野村 哲郎(当選4回)



「茨城ワンチーム」の代表者のみなさん(於:加波山神社)
「茨城たばこワンチーム」の参加団体(順不同)
●加波山神社 ●中日本耕作組合 ●茨城たばこの会 ●JT茨城支社 ●JT中日本リーフオフィス ●JTファミスタ ●JT友部工場 ●JTプラントサービス(株)友部支店 ●TSネットワーク(株)水戸流通センター ●茨城県たばこ販売協同組合連合会

県内は一つ「茨城たばこワンチーム」
加波山神社もチームに参加
関係機関・団体が情報交換など行う

JT茨城支社(太田隆樹支社長)では、茨城県内にたばこの「生産、製造、販売」事業が存在する利点を生かし、そのパワーを生かすべく、「茨城たばこワンチーム」を組織して、定期的に参加関係機関・団体が一堂に会して情報交換と課題の共有、団結の確認を行っている。

6月4日には、桜川市の加波山神社(たばこ神社併設)で9月のきせる祭(有名)で例会が開催され、茨城県連合会から新任の菅谷達男連合会長、斉藤典洋事務局長が出席した。茨城県連合会では「厳しい環境の中で、同じ釜の飯を食っている仲間が沢山いることを再確認した。今後とも連携を強化して共に頑張りたい」と語っている。

なお、加波山神社も「茨城たばこワンチーム」に参加している。

長年にわたるご尽力に感謝 今限りで勇退の岡田広先生に 全協・加藤和人副会長等が謝意

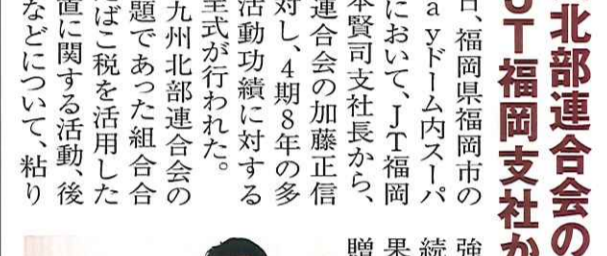


岡田広先生(右)と全協・加藤和人副会長
ばこ議員連盟副会長、自民党たばこ特別委員会副委員長などを歴任された岡田広先生が、今限りで勇退されることに伴い、全協の加藤和人副会長、武田基樹統括部長、北野裕一朗企画部長が6月15日、東京都千代田区の参議院議員会館を訪れ、長年にわたったばこ業界の維持・発展にご尽力を感謝し、お礼状を贈りました。

2003年(平成15年)より参議院議員(茨城県選挙区・4期)を務め、自民党たばこ議員連盟副会長、自民党たばこ特別委員会副委員長などを歴任された岡田広先生が、今限りで勇退されることに伴い、全協の加藤和人副会長、武田基樹統括部長、北野裕一朗企画部長が6月15日、東京都千代田区の参議院議員会館を訪れ、長年にわたったばこ業界の維持・発展にご尽力を感謝し、お礼状を贈りました。

岡田広先生は、茨城県議会議員、水戸市長、そして参議院議員として終始一貫、茨城県及び国内の葉たばこ生産、たばこ販売事業に対し、陰になり日向になり支援し続けていただいている。政界を勇退したのちも、「出来る限り応援していく」と力強くおっしゃっている。

九州北部連合会の加藤前会長に JT福岡支社から感謝状



加藤正信前会長(左)とJT福岡支社の岡本賢司支社長
当日は、JTの長崎、佐賀の各支社長も駆けつけ、これまでの活動に関する様々な思い出話に花が咲くとともに、活発な意見交換の場となった。

6月17日、福岡県福岡市のPaypayドーム内スーパードラッグにおいて、JT福岡支社の岡本賢司支社長から、九州北部連合会の加藤正信前会長に対し、4期8年の多岐に亘る活動功績に対する感謝状贈呈式が行われた。

これは、九州北部連合会の大きな課題であった組合合併、地方たばこ税を活用した喫煙所設置に関する活動、後継者育成などについて、粘り強く、かつ、積極的に活動を継続したことにより、大きな成果をあげてきたことに対して贈られたもの。

後任の九州北部連合会の白石宗範会長は、「加藤前会長が培われた、九州北部連合会の伝統ある活動を引き継ぎ、更なる発展のため、そして、組合員が組合に入っている良かったと言えるところに、つとめ、若い行動力を生かして、頑張っていきたい」と力強く話した。

広告3段



横浜財務事務所からは10名参加(中央・横田会長)

■神奈川県連合会
JR川崎駅東口広場
総勢44人が参加
 神奈川県連合会(横田圭二会長)は7月13日午前9時からJR川崎駅東口広場で街頭イベントを実施した。

参加者は横浜財務事務所10名、神奈川県青少年課5名、地元・川崎市地域安全推進課1名ほか、JT神奈川県支社から宮下剛支社長ら5名、B.A.T.J社から3名、トゥールスピリットタバコカンパニー2名、たばこを楽しむ会(神奈川県)2名、たばこ組合関係では連合会3名、川崎組合から鈴木なお子女性部長ら13名の総勢44名。

横田圭二会長の「民法改正で18歳から成人となったが、20歳未満は従来通り喫煙禁止。そうしたことを認識してアピールしてほしい」との挨拶の後、参加者は小雨ふる中、約1時間にわたり、駅の乗降客などに「20歳未満喫煙禁止にご協力ください」と訴えながらポケットティッシュ3千個を配布した。

20歳未満喫煙防止キャンペーン

7月は「20歳未満喫煙防止強化月間」——全国の連合会・組合が主体となった街頭キャンペーンは、いまだ先行き不透明な新型コロナウイルス感染症状況を見据えた慎重な判断により、マスク着用など万全のコロナ感染防止対策を講じながら関係機関・団体と連携して実施している。

イベントでは、本年4月1日の民法改正により成人年齢が20歳から18歳に引き下げられても、従来通り「20歳未満の喫煙禁止」が継続されたことを踏まえて、「18歳、19歳は成人年齢だが、20歳までは喫煙禁止」を強調している。関東地区4連合会のイベント概要は次の通り。



20歳未満喫煙防止キャンペーン実施中



■埼玉県連合会
JR大宮駅2か所
地元テレビ局も取材
 埼玉県連合会(高沢啓会長)の街頭イベントは7月13日午後4時から、JR大宮駅の東口・西口で実施された。イベントの周知には、JR大宮駅の全面協力により西口の出口付近の回転式電光掲示板に「20歳未満喫煙防止キャンペーン実施中」、「とめよう。20歳未満の喫煙。大人への第1歩は、手袋を着用した。なお、当日、地元テレビ局が取材し、夜に活動状況が放映された。参加者は次の通り(順不同)。

関東財務局理財部2名、埼玉県青少年課2名、埼玉県警生活安全部少年課2名、大宮警察署少年係5名、JT埼玉支社4名、B.A.T.J2名、彩の国たばこ愛好会6名。

たばこ組合関係では、連合会から高沢啓会長、嶋田龍二専務理事ら役員、藤田由美子女性部長など12名。



■千葉県連合会
JR千葉駅東口
周辺で実施
 千葉県連合会(岩田富久司会長)の千葉県組合千葉支部(大野義雄支部長)は7月8日、JR千葉駅東口周辺で街頭イベントを実施した。参加者は大野義雄支部長、小池寿子女性部長ほか9名、千葉財務事務所2名、JT千葉支社の鈴木重太郎支社長など7名、B.A.T.J2名、千葉県愛煙家友の会、連合会ら総勢23名が、ビブスタスキ掛けを着用し、20歳未満喫煙防止を呼び掛けながらポケットティッシュ2千個を配布した。イベント終了後には、連合会が20歳未満喫煙防止協議会資料を参加代表者に手渡し、今後の理解と協力を求めた。

なお、県組合各支部では7月の強化月間中に当日以外の活動として県内12か所総勢約130名参加による街頭イベントを実施する予定。



■栃木県連合会
JR宇都宮駅前周辺
 栃木県連合会(樽見行雄会長)は7月7日、JR宇都宮駅前(東口・西口)周辺で20歳未満喫煙防止啓発イベントを実施した。はじめに

主催者代表として五味潤節夫専務理事が挨拶を行ったあと、宇都宮組合、JT栃木支社、栃木県警少年課など12団体(別掲)から総勢33名の参加者を得て、通学・乗降客に約3千個のポケットティッシュを配布した。なお、当日は地元の下野新聞社が取材した。参加団体は次の通り(順不同)。

◆宇都宮財務事務所、栃木県警少年課、宇都宮東警察署生活安全課、栃木県人権青少年男女参画課、栃木県文書学事課、栃木県教育委員会学校安全課、栃木県青少年育成県民会議、栃木県青少年指導センター連絡協議会、JT栃木支社、栃木たばこ会、宇都宮組合、栃木県連合会。

教えて! 分煙コンサルタント

いまからできる?

カンタン?

JTの分煙コンサルティング活動では、分煙のメリットやその方法のほか、たばこに関するさまざまな質問や相談に対して、無償でアドバイスを行っております。

皆さまの分煙のギモンにお答えします。

詳しくは **JT 分煙コンサル** 検索

【飲食店・事業所などの分煙に関するお問い合わせ】
 日本たばこ産業(株)お客様相談センター TEL:0120-198-504
 受付時間:平日10:00~17:00 休業日:土日祝日、創立記念日(6月最初の平日)、12月30日~1月4日

再考 「地方たばこ税」

自治体への「地方たばこ税」を活用した分煙環境整備の陳情・要望活動は、本年7月14日時点の集約で、総活動実績数1272件(1面掲載・全協まとめ)だが、直近の5月9日時点と比較すると32件の増加、喫煙所創設では5件増である。全国的な取り組みが、喫煙所創設に至るまでには、粘り強い活動の積み重ねと時間を要するところが分かる。自治体に対し「税制改正大綱」や「総務省通知」により、3年連続の「屋外分煙施設等の整備」の要請が行われ、たばこ業界の追い風となつて徐々に理解が深まりつつあるものの、行政・議会の対応は複雑である。首長が喫煙所を設置する意向でも議会が賛同しない、議会が分煙環境の請願書を決議しても行政が賛成しないなど、ハードルが高い側面があることも現実である。

店頭での草の根運動で世論形成を盛り上げよう「分煙環境整備」活動



たばこ業界では総力戦で働きかけを継続しているが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

新煙故知新

たばこ塩の博物館・谷田 有史

中国・武漢から発生したコロナ禍も、ようやく下火になりつつあるが、深夜まで飲食するのは、まだ何となく気がひける。コロナ禍が始まる前、ときどき足を運んだシガーバーで、たばこや葉巻の甘い香りに包まれながらお酒を飲み、ゆつたりとした時間を過ごす贅沢を味わいたいのと思う今日この頃である。

今回は20世紀初頭に生まれ、「葉巻(シガー)」の楽し

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ雑学講座 49

初心者が憧れる高級葉巻

とえば、なんといっても「ダビドフ」だろう。その名前を世界中に広めたのは、ジーノ・ダビドフ(1906-1994)という人物で、彼がいなければ現代の葉巻の隆盛はなかっただろうと言

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

一服啓上

医学博士 橋内 章

加熱式たばこも規制がきつくなりそうな気配です。当然でしょう。嫌煙家の目的はニコチンの効果を喫煙者に利用させないことで、喫煙の害うんぬんは名分が過ぎません。喫煙には長い歴史があり、喫煙は1492年のコロンブスのアメリカ大陸発見以降にヨーロッパに持ち込まれ、その後急速に普及しました。そして普及とほぼ同時に喫煙を嫌う世論も出現しています。17世紀には既に、ヨーロッパ各国でたばこが法的に禁止されたのが文献で確認できます。それが喫煙の歴史で、今に始まったことではありません。日本でも江戸時代の初期から明治にかけて禁煙令が百回以上も出されていて、その解除令は二度も出されていないこと。つまり、毎回自然消滅していたわけですが、喫煙の効能を体験した人類は、必要とあればたばこを吸います。喫煙を必要とするのは生活に不安があるときです。悩み事がある時、仕事で疲れた時、そんな時にたばこを吸いたくなります。ニコチンの知的能力向上効果を体験的に知っているからです。江戸時代は平和が維持されていたとはいえ、飢饉は度々あったようで、それが禁煙令を自然消滅させたのでしよう。現在でも、コロナ禍で喫煙者は喫煙量が増えたという調査結果があります。多くの喫煙者は、止めようと思いつつも喫煙を続けているようで、喫煙の必要性和健康の心配という葛藤があります。たばこを止められるのは生活が平穏で安定していて、知的能力向上効果を必要としないときです。そして、そんな時に将来の健康が心配になり、今の健康至上主義の社会現象がそうですが、ここで問題になるのが、喫煙を続けている人と止めた人では、どちらが偉いのです。たばこを止めた証拠でもありませんし、「たばこを止められないのは意志が弱いからだ」という認識もあり、止めた人は「自分は偉い」、「止められない人よりも社会的な順位が高い」と、そこで満足すれば良いわけですが、しかし、嫌煙家は喫煙の益と害を意識下に認識していません。益とは喫煙が知的能力を上げて仕事に有利なこと、害があるとしても、すぐさま健康を害して順位闘争から脱落して欲しいものです。現在の平和で民主的な社会は、17世紀以降のヨーロッパ各国での市民革命に端を発しています。人々の知的能力の平均レベルがニコチンによって向上した社会がもたらしたものです。プーチンの暴挙を許したのは、喫煙者率が減少した世界であったことを心に留めて下さい。人類は同胞を殺すことを抑える本能的習性を備えていません。そして、強力な武器を同胞に向けることを抑える、知的能力も足りません。人類の平和には、喫煙で人々の知的能力の平均レベルを上げることが必須です。なぜなら、強力な武器は、ニコチンによって知的能力を向上させた人達が産み出したものだからです。

喫煙と平和

たばこ業界で働いてきたが、より実効力ある活動にするには、団体(組織)に依存するだけではなく、それを支える組合員自身がお客様、地域社会への周知活動を盛り上げる、草の根運動による世論形成が不可欠である。ある組合員に「地元の方たばこ税の納付額はいくらか知っていますか」と聞いてみると「知らない」と答えている。たばこ税、喫煙所設置をどう考えているのか。モバイルリサーチを展開するネットエイジア社が昨年9月に実施した調査結果によると、「たばこ税の税収がどのくらいか」の問いに喫煙者の91%、非喫煙者の98%が「知らない」と回答し、認知度が相当に低い。次に「屋外喫煙所整備のためたばこ税を活用する」として貢献していること、この事実を踏まえ①屋内施設や敷地内の禁煙化や既存喫煙所の撤去・廃止により、喫煙機会が極端に減少していることから愛煙家が安心して一服できる場所を確保すること。そしてポイ捨ても防止する②喫煙者(たばこ)を排除することなく、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙社会の実現に向け、「地方たばこ税の二部を分煙環境整備へ活用する全国的制度化」を目的としている。

茨城県連合会の菅谷会長が県議会副議長・県議を表敬訪問 喫煙場所の早期設置など喫煙環境整備への協力要請も行う



前列の中央が菅谷達男会長。後列左2人目から館静馬副議長、小室幸夫水戸支部長、星田弘司県議会議員

茨城県連合会の菅谷達男会長は6月10日、新たに会

「今後も、より一層のご支援、ご協力を賜りたい」と述べる

と、館静馬副議長、星田弘司県議会議員とも、「たばこ組合のみなさんは、たばこ税の安定確保はもちろん、社会貢献活動など多岐にわたって活動している。今後も、こうしたみなさんのお力になるよう、頑張っていきたい」と

また、菅谷達男会長は、県庁敷地内への喫煙場所の早期設置など喫煙環境整備への協力要請も行い、意見、情報を交換した後、その実現に向けて連携して取り組むことを確認した。

新会長に森益哉氏が就任
TSネットワーク株式会社
TSネットワーク株式会社
社東京台東区浅草橋)の代表取締役社長に、7月1日付で新谷裕氏が就任した。



森益哉新会長



新谷裕新社長

江戸川柳と嗜好品

15 谷 匡輔 (江戸川柳研究家)

「たばこ盆」は、今では時代劇や歌舞伎くらいでしか見かけなくなりましたが、喫煙具だが、「火入れ」「灰吹き(灰落し)」「きせる」など、喫煙に必要な用具をまとめて入れておく什器である。

江戸時代は「客あれば、お茶より先にたばこ盆」とも言われ、会話の席などに欠かすことが出来ない物であった。「火入れの火三杯替える長話し」は、火入れの中の炭火を三杯も入れ替える

たばこ盆

とは相当な長話である。

「せき込んで碁打ち火入れの火を掴み」は、たばこ盆の火入れからきせるに火を着けようとした時に、誤って炭火に触ってしまった様子を詠む。盤面が色濃厚なので、気もそぞろなのである。

「灰吹きを一つゆするも礼儀なり」は、来客にたばこ盆

また、身近な什器ゆえに江戸川柳には、「たばこ盆」を詠み込んだ句が多く見られる。

江戸時代は「客あれば、お茶より先にたばこ盆」とも言われ、会話の席などに欠かすことが出来ない物であった。「火入れの火三杯替える長話し」は、火入れの中の炭火を三杯も入れ替える

「雨だれに無脱落させぬたばこ盆」とは、雨だれを受けて灰吹きを消す様子。たばこ盆に付属する灰吹きについては、「灰吹きは葡萄の皮で埋めるなり」とか「葡萄を食い仕舞い灰吹きを捨てる」という句も詠まれている。葡萄の皮や西瓜の種の捨て場所としても用いられていた。

しかし、たばこ盆の最も相応しい使い道は、やはりたばこ盆を前にしながら親しい人たちと交わす会話だろう。「灰吹きは唾の殻の捨て所」という句が拾えるが、昔も今も喫煙が人と人との間を取り持っていたということ

「セブンスター・10・ボックス」が味・香りをリニューアル 煙がより旨くなって8月上旬より全国発売

Seven Stars
Charcoal Filter 10

たばこの煙は、あなただけでなく、周りの人が肺がん、心筋梗塞など虚血性心疾患、脳卒中になる危険性も高めます。

セブンスター・10・ボックス

JTは、セブンスターブランドの「セブンスター・10・ボックス」において、味・香りのリニューアルを行い、8月上旬より順次、全国のたばこ販売店及びコンビニエンスストア等で発売する。

セブンスターは、その名に込められた「新時代の幕開けを象徴するたばこ」として、いつまでも輝き続ける」という強い想いと共に、時代が変わろうとも己を貫き、たばこの本質を体現するために前進を続けるブランドである。セブンスターの確かな味わいと唯一無二の煙の旨さは、国産のたばこ葉を中心とした独自のブレンドにより生まれている。

この度、「セブンスター・10・ボックス」は、たばこ葉のブレンドにおける国産

組合員の皆様のスキルアップ、を応援します!!

全国たばこ販売協同組合連合会

◆「通信教育講座」(第二次申込)と「パソコン研修(教室)」のご案内◆

全協では、2022年度「通信教育講座」と「パソコン研修(教室)」を受講する皆様に受講料を助成致します。受講対象者は、講座・研修(教室)を受講する「組合員及び組合員と同居している後継者(予定者を含む)」です。是非この機会を皆様のスキルアップにお役立てください。

※詳細は所属組合または連合会にお問い合わせください。

【通信教育講座】第二次申込

所属組合または連合会に申込方法をご確認の上、30コースよりご希望のコースを選択してください。

講座修了者には、受講料の80%を助成金としてお支払い致します。

- 第二次申込期間:2022年9月1日(木)~10月14日(金)
- 受講開始:2022年11月1日(火)~
※テキスト等が到着次第スタート
- 助成金申請:2023年3月10日(金)まで
※全協必着



【パソコン研修(教室)】

最寄りのパソコン教室で、希望するコースを選択してください。

研修修了者には、受講料の全額(2万円を上限)を助成金としてお支払い致します。

- 申込期間:2022年4月1日(金)~
- 受講開始:2022年4月1日(金)~
- 助成金申請:2023年3月10日(金)まで
※全協必着



近江商人に影響を与えたと言われている石田梅岩は、江戸時代中期に活躍した町人学者です。幼い頃から人間の本性に疑問を抱いていた梅岩は、商家で働きながら人生の道を知ろうと努めていました。当時の学問であった神道・儒教・仏教を学び、それらは「渾然たる一理」を指して、いずれも心を磨く磨き草であるから、一つの教義にこだわらないという態度でした。

中年になって小栗了雲という隠士に遭遇し、その指導によって「性は目なし(我なし)」であることを悟りました。人の本性に、我はなことを知り、本性のままに行動すればおのずから天理に適い、心は常に安楽であることを悟るに至ったのです。商人道の教説を特徴とする梅岩思想の根底には、人間に関する深い洞察があ

行を強く否定しました。欲心に基づいたこの行為は道に背いており、そのようにして得た金は不義の金であつて、これをとれば子孫が絶えることになると思ひました。

欲心の弊害はいつの時代にも指摘されています。近代日本経済の父である渋沢栄一は、仁義も道徳もなく、法の網を掻い潜つてで

も金儲けをしたいという利己主義者がいることを嘆き、「もし永くこの状態を押し行くとすれば、将来貧富の懸隔はますます甚しくなり、社会は愈々あさましい結果に立ち至る」と語っています。

そもそも、商人とは勘定にくわしくまたそれを生業としますから、一銭も軽んじてはなりません。その一銭を重ねて富を為すところに、商人の道があるのです。よ

推察し、金銀を正しく動かすことが商人の役目でなければならぬ」と梅岩は訓えています。

金銀を正しく動かすことによつて、品質・用途・値段で満足していただけるものを提供することができま

勿論そこには、合理化と儉約が織り込まれています。その結果、客は惜しむべきお金を喜んで支払い、心も満足します。購入した側も売った側も心が通じ合い、お互

富の主は天下の人々であり、社会を離れた富などはありません。富豪といえども自分だけで儲けたわけではなく、いわば社会から儲けさせて貰ったようなものなのです。渋沢栄一の語

るように、「我利我利の事業はなんら生命なき一つの骸骨にひとしきものたるを

知り」、「真実の心をもつて事業の衝にあたり」、「さらに、常に社会的恩誼あるを思い、徳義上の義務として社会に尽すことを忘れてはならぬ」のが、商人の心得というものでないでしょうか。

(飛鳥山 望)

「富の主は天下の人々」

石田梅岩

先人の言葉 ⑤



手紙、ハガキ、伝言、報告書などの文章を書くときに誤字に気が付かず、相手に指摘されて赤面したことがあると思います。ここでは、書き間違いやすい言葉を例に挙げました。3つの漢字の1文字が誤字(間違い)ですが、正しいのは1つだけです。辞書を片手に正しい漢字の言葉の番号を1つ選んでください。

- ① くびじっけん:首実験
- ② だっしめん:脱糸綿
- ③ けつまくえん:血膜炎
- ④ じゅわき:受話機
- ⑤ ぜんごさく:前後策
- ⑥ せんじゆうかん:先入感
- ⑦ たいへいよう:太平洋
- ⑧ たいせいよう:太西洋
- ⑨ みせいねん:未青年
- ⑩ もくひけん:黙否権

答: ○

★正解者の方から抽選で10名様に3000円のクオカードをプレゼント!

【応募方法】
ハガキに8月号と記入の上、答え、住所、氏名、年齢、電話、所属組合、今月号の「興味のある記事」と「興味のなかった記事」を明記してお送りください。締め切りは2022年9月5日(当日消印有効)。当選者と正解の発表は本紙2022年10月号です。

【クイズ・お便りコーナー応募先】
〒105-0014 東京都港区芝1-6-10 芝SIAビル7階
全国たばこ新聞「クイズ」係 (☎03-3432-8346)

6月号クイズの正解と当選者

- 正解 61
 - 当選者(敬称略)
 - 増川 由美(山形県・山形県組合) 南部 登喜子(宮城県・宮城県組合)
 - 塩野 和子(栃木県・栃木組合) 初見 ヨシ子(埼玉県・彩の国組合)
 - 坂上 菊子(新潟県・長岡組合) 沢田 のぶ子(愛知県・愛知県組合)
 - 谷口 治道(兵庫県・東兵庫組合) 工藤 知子(滋賀県・大津組合)
 - 井上 貴代(愛媛県・愛媛県南予組合) 中元 美佐子(熊本県・天草組合)
- 以上10名の方が当選いたしました。おめでとうございます。

安心 未来

組合員のみなさまに耳よりな情報です!

たばこ販売店総合保険 まもなく募集開始!

9月1日(木)より募集開始となります!

保険期間は令和4年12月1日(木)より1年間です。
※ご加入できるのは、「全協」の傘下組合に所属する組合員(家族等含む)のみです。
加入申込等の問い合わせは、所属組合へお願いします。

問い合わせ先 〈取扱代理店〉MSK保険センター株式会社 本店営業第一部 TEL:03-3259-7902

この広告は保険の特徴を説明したものです。詳細はパンフレットをご覧ください。

株式会社 全日本たばこ販売センター

お店のリスクに備えたい!

日常生活のリスクに備えたい!

「20歳未満喫煙防止」の徹底に向けた標語を募集



「18歳、19歳はもう、大人だが、たばこは駄目」をたばこ屋さんから、優しく、強く、分かりやすくアピール

—全協・全国たばこ新聞—

本紙では、全協の協力を得て、「20歳未満喫煙防止」の徹底に向けた標語を募集します。20歳未満の喫煙防止は、社会で取り組むべき重要な課題です。全協では、一般社団法人日本たばこ協会と連携、毎年7月を『20歳未満喫煙防止強化月間』と定め、組織の総力を挙げて取り組んでいます。

ところで、民法改正により令和4年(2022年)4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わりました。成年年齢の引下げによって、18歳、19歳の方は成年(成人)として扱われることになりました。しかし、成年年齢が18歳になっても、飲酒や喫煙などに関する年齢制限は、これまでと変わらず20歳です。つまり、「18歳、19歳は、成人なのですが、喫煙や飲酒などは禁止」されているのです。

この「18歳、19歳は、まだ、たばこは吸ってはいけません」ということが、広く認知されていないようです。先ごろ行われた国立がん研究センターの調査でも、「18歳、19歳の喫煙が禁じられている」ことについて、20歳以上の15.3%が「知らなかった」、16.1%が「あまりよく知らなかった」との結果が出ています。

こうした状況を変えていき、「20歳未満喫煙防止」の徹底をより一層図っていくために、全協では、このほど全国たばこ新聞で「18歳、19歳はもう、大人だが、たばこは駄目」を、広く、強くアピールする標語を募集することとしました。

20歳未満の喫煙防止に対する更なる意識向上を図るとともに、18歳、19歳の方にも「たばこは、まだ、駄目」を、たばこ屋さんから、優しく、強く、分かりやすく訴えるような標語を期待しておりますので、奮ってご応募ください。

入賞作品は、全国たばこ新聞で紹介するとともに、最優秀賞など、各賞を設けます。応募要領は別記のとおりですので、よろしく願いいたします。

【募集要領】

- ◆テーマ:「20歳未満の喫煙防止」、とりわけ、「18歳、19歳はもう、大人だが、たばこは駄目」を、広く、強くアピールする標語
- ◆募集対象:たばこ組合員・組合職員及びご家族・たばこ会社関係者
- 【応募にあたっては、住所、氏名、年齢、電話番号などを忘れずに明記してください=忘れずに、かつ、分かりやすい字でお願いします】
- ◆募集期間:2022年10月末日締め切り
- ◆応募方法:ハガキ、手紙、FAX(1人5点以内)
- ◆選考委員会:全協及びたばこ販売関係有識者
- ◆入賞作品選考:最優秀賞=1点(粗品1万円相当)◇全協特別賞、佳作など数点(それぞれ相当する粗品を進呈)
- ◆入賞作品発表:全国たばこ新聞2022年12月号(11月25日発行)紙面に掲載予定
- 応募先・問い合わせ先
- 住所:〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第1ビル 株アースト 標語募集係
- 電話:03(3432)8346
- FAX:03(3432)8347

「たばこ屋さん目線」からの川柳

紙面の都合でしばらくお休みしました「たばこ屋さん目線」からの川柳、今月号は7月10日までに寄せられた193句の「川柳」の中から、次の5名の方の作品、5句を紹介いたします。

◆ 紹介作品 ◆

- まとめ買い 売れた日付をメモ欄に (茨城県・木戸はる子さん)
- なじみ客 今日も元気でさつそうと (長野県・久米義輝さん)
- 灰皿と 今日も仲良し 白寿まで (富山県・神本俊子さん)
- 手渡し たばこ二つで つなぐ和よ (三重県・中西徹さん)
- 廃業を思へば浮かぶ 父母の顔 (兵庫県・藤原まさきさん)

【70周年特別表彰組合】

●「30増口人員」部門

順位	組合名	所属支部
1	福島組合	郡山
1	新福島組合 平支部	郡山
1	津山組合	岡山

●「30増口数」部門

順位	組合名	所属支部
1	三崎組合	神奈川
2	長岡組合	上信越
3	新潟組合 新津支部	上信越
3	呉組合	広島

●「30満口」部門

順位	組合名	所属支部
1	北北海道組合 稚内支部	札幌
1	北北海道組合 名寄支部	札幌
3	福島組合	郡山
3	北海道組合 本部	札幌
5	佐賀県組合 唐津支部	福岡
6	大分県組合 日田支部	熊本

●「純増口数」部門

順位	組合名	所属支部
1	岸和田組合	関西
2	北海道組合 本部	札幌
3	新福島組合 平支部	郡山

生協 たばこ 70周年特別表彰受賞組合決まる

全国たばこ販売生活協同組合(益田龍朗会長の理事會が6月7日に開催され、たばこ生協創立70周年(1950年(昭和25年)設立)記念として実施されたキャンペーンなどの優秀組合のうち、4部門16組合(左表)が決定した。なお、受賞組合の一部で組合支部本部が対象なのは、資格者数50名を超える統合した組合支部(本部を「みなし組合」として対象としたもの)。

また、創立70周年ありがとうキャンペーンの「700名様に当たる5千円相当の選べるカタログギフト」は、火災生命共済契約の応募者の中から抽選で、上期67名様と併せ合計700名様が登場。当選しなかった応募者にはアンケートを実施のうえ、クオカード(1千円相当)を進呈する。当選者の発表は発送をもって代えることとなる。

7月のP.O.Pの作り方

カラーコピーでPOPを作ってみましょう。

●カラーコピーで拡大して簡単にPOPを作ってみましょう!

お近くのカラーコピーで拡大コピーをプリントして、厚紙に貼り、切り抜きます。(コピーの拡大プリントでわからない点はお店で相談してみてください。)

↓この点線内を200% (A4サイズ)に拡大カラーコピーします。

用意する道具

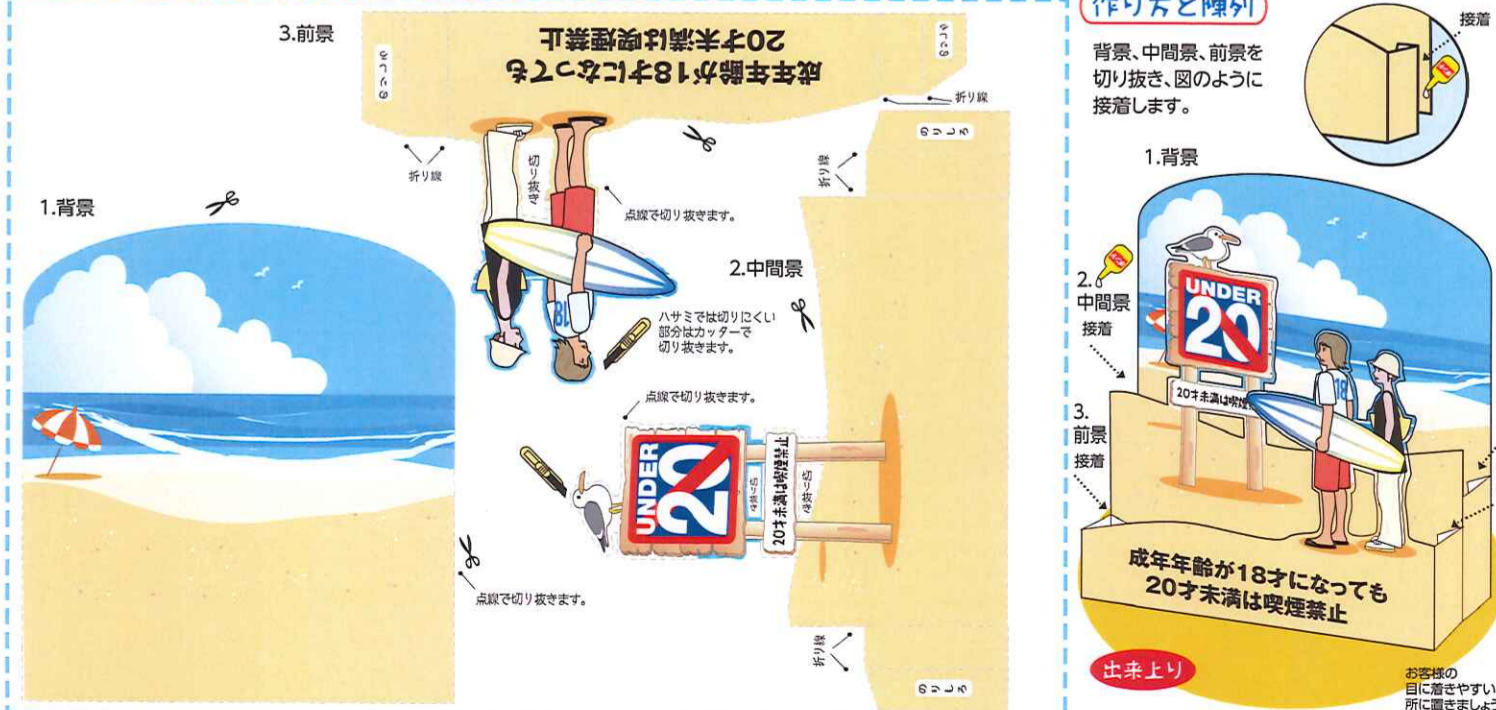
ハサミ、カッター、定規、スティックのり(太めサイズ)またはスプレーのり、手芸用ボンド

用意する材料

厚紙 A4サイズ1枚

作り方と陳列

背景、中間景、前景を切り抜き、図のように接着します。



手作りPOPで
お店を飾りましょう!
Design: イザ・デザイン